

プラザ イベントガイド

第4回

スプリング 夢 コンサート
in TOKI

このコンサートは、市民が自ら企画し開催する「手作りコンサート」です。出演者の皆さんは、市内や近隣の市町で音楽活動をしている方々で、公募で集まりました。クラシックコンサートに行きたいと思っても、なんとなく遠慮してしまう。そんな方にも気軽に楽しむことができる、春のように暖かく夢のあるコンサートです。

と き 3月16日(日) 午後1時開演
ところ サンホール
入場料 無料

出演予定者

▷井川幹子・内田有美・折戸涼子・後藤恵美(フルート四重奏) ▷池田千明(ピアノ) ▷宇佐美麻弥・伊藤さおり(ピアノデュオ) ▷梅村志宜・斉藤順子(重唱) ▷西尾圭未・浦田寛子(ピアノ連弾) ▷大村絵里・山口栄子(重唱) ▷片桐葵・田中裕美(ピアノデュオ) ▷林裕美・加藤千恵(重唱) ▷平野佳恵(声楽) ▷船戸麻記子(ピアノ) ▷水野智美(声楽) ▷森千穂(ピアノ)・渡辺ますみ(エレクトーン) ▷森川晶代(フルート)・森詩野(ヴァイオリン)・伊藤亜希子(ピアノ) ▷藤原真理子(司会)

移動図書館
巡回日程

3月

1日	12:40~14:20	曾木下~上
15日	14:30~16:10	鶴里細野~坂下
5日	15:00~15:20	恵風荘
19日	15:30~15:50	駄知支所
7日	16:00~16:30	十六銀行駄知支店
8日	16:00~16:30	産業福祉会館
22日	13:10~13:40	泉公民館
	13:50~14:10	定林寺公民館
	14:20~15:10	泉北団地
	15:20~15:50	文化会館
	16:00~16:30	土岐津陶元クラブ
9日	9:30~9:50	阿庄下石橋
	10:00~10:20	西陵団地
	10:30~10:50	妻木上郷
	11:10~11:40	旭ヶ丘公民館
	13:00~16:00	駄知支所
12日	15:00~15:20	下石山神
26日	15:30~15:50	下石清水
	16:00~16:30	下石楽習舎
14日	16:00~16:30	肥田工業組合
28日		
23日	9:30~9:50	阿庄下石橋
	10:00~10:20	西陵団地
	10:30~10:50	妻木上郷
	11:10~11:40	旭ヶ丘公民館
	13:00~16:00	ウエルフェア土岐

3月の休館日

3日(月)・10日(月)・17日(月)
21日(金・祝)・24日(月)・31日(月)



図書館だより

エクス・リブリス

74

市立図書館(☎551253)

「すっぱらぼんのぼん」と

「姥ざかり花の旅笠」

頼山陽の母、梅颯の評伝「すっぱらぼんのぼん」を書いた広島在住の小説家、見延典子は、頼山陽史料資料館において、頼山陽の母、梅颯の書簡に接し、山陽に関して意外な事実を知りました。

山陽は、子どもの時から言動に問題があり、最初の結婚をしたころには、座敷牢に入れられるような大事件を引き起こす、大変な親不孝息子だったというのです。

当時著者自身、子育てに悩んでおり、梅颯はどのように山陽を育て、苦境を乗り切ったか、日記をもとに評伝を書き起こす、大変な親不孝息子だったというのです。

山陽を育て、苦境を乗り切った。当時著者自身、子育てに悩んでおり、梅颯はどのように山陽を育て、苦境を乗り切ったか、日記をもとに評伝を書き起こす、大変な親不孝息子だったというのです。

たのだらうと関心を持ちました。

山陽の研究書は多く、梅颯の日記も夫である春水の日記とともに、頼山陽全集の付録として公刊されており、山陽研究には、不可欠な資料となっています。

八十四歳まで五十九年にわたって書きつづられた梅颯の日記を読み進むにつれ、梅颯の人柄、人生・生活を楽しんでいる様子、そして当時の人の考えや暮らしぶりまでうかがえ、日記をもとに評伝を書くことになりました。

本の題は、梅颯の父が愛娘に贈った『夜鶴草』に書かれている『世の中に道より外は何事もすっぱらぼんのぼんにしておけ』からとられています。世渡りの中で、人生は守るべき道は守り、それ以外はくよくよと思い悩んだりせず、弾みをつけて乗り切れと励ましています。

田辺聖子「姥ざかり花の旅笠」は、江戸時代の旅日記である「東路日記」をもとに書いたものです。日記の著者、小田宅子は、筑前の裕福な商家のお内儀さんで、俳優・高倉健の先祖にあたります。一行は、歌仲間の五十路女四人とお供の男衆三人。天保十二年正月から五ヵ月をかけて、九州小倉から伊勢、善光寺を経て日光、江戸まで三千二百キロの楽しい旅が続きます。